



問い合わせ先 政策調整室 32-2027

笑顔あふれる 50の指標 状況報告

平成18年に、平成27年までの10年間の津山市のあり方・目指すまの姿を描いた「津山市第4次総合計画」を策定しました。計画期間を前期、中期、後期の3つに分けた実施計画を作成し、総合計画に示された施策の実現、計画的な事業推進に努めています。その中で、市民の皆さんに施策の進捗状況を分かりやすくお伝えするため、身近な数値を用いた指標で平成23年度の目標値を設定し、各年度の取り組み状況が分かるようにしています。

平成21年度の取り組み状況をまとめましたのでお知らせします。

指標名	実績値 (平成21年度)	目標値 (平成23年度)	平成21年度の取り組み状況
ファミリー・サポート・センター事業の会員数	933人	1,060人	親子ひろばとの連携。広報活動の充実により会員増
一時保育の実施保育所(園)数	16カ所	15カ所	未実施保育所(園)に実施を要請
放課後児童クラブの開設数	29カ所	32カ所	喬松小学校学区・院庄小学校学区において児童クラブ開設
朝食を毎日食べる3歳児数	92.7%	100.0%	朝食についての資料を作成・配布して啓発
胃がん検診受診率	14.7%	50.0%	ケーブルテレビの活用など広報を充実させ、受診率向上に努める
子宮がん検診受診率	12.2%	35.0%	子宮がん検診クーポンを導入し、受診率の向上に努める
地域包括支援センター相談件数	18,554件	25,000件	高齢者問題の啓発活動を積極的に実施
めざせ元気! こけなないから講座実施数	128カ所	135カ所	新たに31地区で開始
療育事業相談件数	212件	350件	電話・来所相談のほか、幼保・小中学校での巡回相談を実施
小・中学校の耐震化率	66.1%	67.0%	6小学校の校舎棟などの耐震補強工事が完了。2小中学校が工事中
審議会における女性委員の参画率	29.9%	33.0%	担当部署に対して、女性委員の登用について周知
公民館の利用者数	298,836人	287,000人	各公民館で、地域の特色を生かした生涯教育を推進
図書館の利用者数	144,658人	149,000人	自動貸出機などのインフラ整備と併せて全館に子育て支援コーナーを創設
文化センター、文化ホールの利用者数	221,545人	231,000人	積極的に自主事業を企画・実施し、利用者数の増加に努める
スポーツ施設の利用者数	614,608人	664,000人	利用者の利便性向上、安全対策のための施設整備を実施
市立博物館、資料館の利用者数	13,272人	26,700人	日常的に小テーマの企画展を実施。学校教育との連携を強化
日本語教室の参加者数	1,273人	1,340人	外国人登録者数の減少に伴い、受講者数の減少が影響
認定農業者数	177人	185人	新規認定者の確保、再認定者へのフォローアップを実施
集落営農組織数	30件	27件	集落営農の組織化に向けた説明会などを実施
ほ場整備率	81.8%	83.1%	久米地区、宮部地区における事業推進
森林整備の実施面積	1,540ha	4,100ha	森林災害復旧期間の終了に伴い、通常の育林施策を推進
中心商店街空き店舗新規出店数	5件	10件	空き店舗対策機構が一環してマネジメントを行い、出店者を誘致
津山産業・流通センター企業立地率	36.4%	40.0%	県と連携し企業誘致活動を実施
つやま産学官夢プラザ会員数	114会員	100会員	企業訪問、ホームページでの情報提供。イベント参加によりPR実施
U・I・Jターン相談件数	129件	120件	相談窓口の常設。新卒予定の大学生を対象に企業説明会を開催
主要観光地の観光客数	63.2万人	78万人	「津山ホルモンうどん」の効果などにより観光客が増加
津山観光センターの来客数	41,948人	55,000人	観光客数の伸びに比べ、観光センターへの来客数は伸びていない
河川水質の環境基準達成率	100%	100%	下水道や合併処理浄化槽などの汚水処理施設の計画的な整備
環境マネジメントシステム認証事業者数	40事業者	48事業者	事業者向けセミナーの開催などの普及促進の継続実施
子どもエコクラブ加入数	329人	210人	積極的に新規加入の啓発勧誘を実施
地球温暖化防止のための市民の取り組み	57.7%	62.6%	地球温暖化対策となる市民の取り組みに関する普及啓発を実施
地球温暖化防止のための事業者の取り組み	47.5%	55.3%	地球温暖化対策となる事業者の取り組みに関する普及啓発を実施
一般廃棄物総排出量(全域)	35,867t	32,790t	すべてのごみ種について排出量減少。引続き排出抑制に努める
一般廃棄物のうちリサイクルされた割合(全域)	21.7%	25.0%	資源物の搬入量が減少したこと、リサイクル率は微減
汚水処理施設整備率(普及率)	50.3%	54.9%	公共下水道については計画どおり進捗
小規模飲料水供給施設の設置数	0カ所	2カ所	1カ所事業着手(完成は平成22年度)
騒音の環境基準達成率	88.9%	90.0%	自動車騒音による環境基準未達成地域あり
公害等苦情件数	95件	90件	環境パトロールによる注意喚起を実施
建築物の耐震診断件数	10件	9件	個別広報活動・県と連携した啓発活動の実施
自主防災組織の数	62団体	85団体	出前講座などの開催による自主防災組織に関する啓発活動を実施
自主防犯組織の数	99団体	120団体	出前講座などの開催による自主防犯組織に関する啓発活動を実施
刑法犯罪発生件数	1,518件	1,670件	自主防犯パトロールなどの実施
交通事故発生件数	900件	900件	広報啓発に加え、交通安全教室の開催
国土調査実施済率	100.0%	100.0%	中北上地区3.04haを実施し、全体計画面積の現地測量を完了
都市計画道路整備率	59.1%	60.1%	大谷一宮線(小田中工区)完成。総社川崎線事業推進
バリアフリー整備率(あんしん歩行エリア内)	71.6%	74.0%	市道のバリアフリー化。「まちあるき点検」を実施
市ホームページの年間閲覧者数	776,850人	764,000人	市ホームページのリニューアル
NPO法人の数	42団体	48団体	つやまNPO支援センターとの連携
市税の収納率(現年度分・過年度分合計)	92.4%	93.0%	滞納整理強化月間などの継続実施、物件のネット公売の開始
津山圏域勤労者互助会の会員数	3,416人	4,000人	未加入事業所の訪問勧誘の強化

市政アドバイザーからの 津山への提言



社団法人大日本水産会会長

白須 敏朗さん(東京都)

今回は、国の機関において、長年「食」や「農」「水産」に携わってきた白須さんから提言をいただきました。

津山にしかない財産は何か

「紫煙る那岐の峰、古城に匂う桜花、豊けき文化の跡汲みて、使命は重しいざ我等」

今から50年前、小学4年生から3年間を過ごした市立第一小学校の校歌です。当時、小学校は津山城址にあり、毎年春には満開の桜が見事でした。市内のあちこちには、掘割が巡り、黒板塀と白壁の屋敷や石畳の道も多く、落ち着いた町並みが印象に残っています。夏には吉井川で泳いでおぼれそうになったり、山に化石を取りに行ったり、積みを削り、農家の人にしかからず遊んだ思い出がいっぱいあります。これからの津山を考えると、「津山にしかない財産は何か」という視点から見るのが大切で、

並みなどの歴史と文化、伝統

産②食とグルメブームに乗っているホルモンうどんと畜産、酪農地域とを結び付け、肉牛振興やアイスクリーム、チーズ作りによる農業、食品産業の活性化

③吉井川の豊かな清流と緑の森林の活用(風力発電、間伐材の薪炭利用や木酢液など)④中国道という交通の要衝にあるメ

白須 敏朗

◎しらす としろう 昭和26年大阪府生まれ。昭和35年から38年まで津山市立第一小学校在籍(卒業)。昭和49年東京大学法学部卒業、農林省(現農林水産省)入省。平成18年水産庁長官、平成20年農林水産事務次官で退官。平成21年(幼)大日本水産会会長に就任、現在に至る。

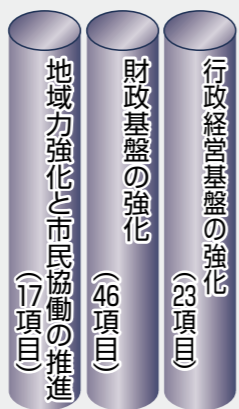
第9次津山市行政改革

実行計画(前期)を策定

「第9次行政改革大綱」に基づき、平成22年度から平成24年度まで(3年間)の「第9次行政改革実行計画(前期)」をこのほど策定しました。

計画の3つの柱

(取り組み内容86項目)



効果額 4億3千4百万円

平成22年度 8千7百万円

平成23年度 1億9千2百万円

平成24年度 1億5千5百万円

対前年比で算定した効果額は3年間で4億3千4百万円になります。

毎年、実施結果について公表し、随時、項目の追加などの見直しを行います。

実行計画は、市ホームページで公表するとともに、行政改革推進室(市役所3階)にて配布しています。

津山市版事業仕分け

市民評価委員が市の事業を評価

市民参加による市政を進めたいために、これまで市が行ってきた事業について、公開の場で専門委員(有識者など)と市担当職員が、事業の必要性や妥当性を議論し、市民評価委員が事業を評価する「津山市版事業仕分け」を実施します。

とき 1月22日(土)・23日(日)午前9時30分～午後4時30分

ところ 市役所2階大会議室

仕分け事業数 14事業(2日間)

仕分け人 津山市行政改革推進委員会専門委員6人

市民評価委員 無作為抽出した18歳以上の市民千人に協力依頼し

応募した人で、各日40人程度

仕分け作業 1事業につき約45分

評価結果 市民評価委員による多数決で行う。ただし、評価結果がそのまま市の最終判断となるものはありません

津山市版事業仕分けは傍聴することができ、事前の申し込みは不要ですが、席に限りがあります。

仕分け対象事業など詳しくは、今後、市ホームページに掲載します。

問い合わせ先 行政改革推進室 32-2028